

第8回 食と農と暮らし円卓会議

日時：平成22年7月23日 13:30～15:00

場所：秋葉2階ラウンジ

参加者：沢畑、下田、藤本、浮嶋、松本、浦、谷口、西平、徳富、池崎、村山

1、環境モデル都市に関する事業報告

2月24日 アイスクリームの試作&試食会

愛林館で7種類位作った

4月13日 2月24日の報告と菜の花プロジェクトについてご意見を頂いた

G・W明けに八代の田んぼで菜種を作っている農家さんの所へ行ってきた(沢畑、下田、浮嶋、池崎)の4名

- ・6月下旬に田植えをし、菜種を刈り取った後でも田植えに間に合う→よそにはないこと
- ・菜の花米として、ブランド化をして菜種と田んぼのお米を併せてPRしている
- ・菜の花米としてブランド化をしても市のバックアップや八代の旅館組合、商店街の協力がなければ維持していくのは難しいとの事。菜の花ウォークラリーなども開催している。

5月25日 円卓会議設立1年目！

- ・各円卓会議の1年間の取り組み発表
- ・学園大の宮北先生から円卓会議の今後の方針。

事務局提案として、環境フェスタは去年の反省を踏まえて

「市民の方が参加しやすいもの」

「円卓会議それぞれに発表ができるような形」で出来ればと考えている。

→作業部会を設立して準備を進めている

6月26日、27日 エコハウスの講演会

1日目はおれんじ館でだご汁のふるまい、エコハウスの見学

2日目は北九州市、宮古島市、水俣市の事例発表など

6月20日

エコドライブ講習会(2回目) 市民6～7名で実施。

- ・エコドライブの体験とJAFの方による座学
- ・エコドライブをする前とした後の比較のデータがでて、エコドライブを体感頂けた

●アイスクリームの試食

- ・評判がよかったものは「ワカメとほうじ茶」の組み合わせ(香りや味が良い)

今後の流れ

製造業者に委託をし、レシピをもらって地元で作っていけるようなものを考えていたが、

6月の末で予算を確保できなかった為、今後どうしたらいいか？ご意見を頂きたい

《意見》

- ・アイスクリームを作って、売って取り返すことが必要だが、9月10月に向けてやっていくのか？
アイスクリームは夏の暑い時に食べたいのでは？
- ・市民講座の中で市民の方に作って頂いたり、食べて頂くことは出来るのではないかと

- ・作ってみて、何かの会合などで食べてもらい良し悪しをみて、販売につなげればいいのか？
- ・市民講座をしているので、市民講座の中で市民の方の意見を聞いてみるのもいいのでは？
その中で作る予算はあるのか？
⇒謝金という形で予算はとってあるので、大丈夫だと思う
ただ、食べてもらうだけでなく、作る所から出来れば地産地消の取り組みを知ってもらえるいい機会である
- ・3000 円位でアイスクリームの機械があるので、買ってしまうのもいいのでは？
- ・環境モデル都市フェスタでも出せたらいい
- ・アイスクリームを作るのにどれぐらいの時間がかかるのか？

□ アイスクリームの機械は沢畑館長が立替えて購入する(3000円位のもの)
味は大人用と子供用の2種類位でいいのではないかな？

＜最終提案として＞

市民講座に向けて準備を進める

＊最終的に幟をたてて、PR をする位の事が必要である

2、環境モデル都市フェスタについて

産業団地まつり実行委員会の報告

- ・産業団地まつり実行委員会の目的に合う部分と合わない部分があった
→目的が合う部分は産業団地まつりで出展し、目的が合わない部分は別の場で別の日時で出展することを考えている

●食と農と暮らしとして、どういった出し物ができるか意見を出してもらいたい(事務局)

共通のテーマとしては、

「来て、見て、知ろう」

- ・給茶スポットは産業団地まつりの方でも興味をもってもらえている
- ・産業団地内の9番(別資料参照)を借りる事ができた(尾上商事さんの所)
そこで、出し物やパネルの展示をしたい

＜出し物の提案＞

- ・菜の花プロジェクトの菜種油でカライモを揚げたものを出す
- ・産業団地まつり内の企業さんは一律100円を出すそうなので、それに合わせた方がいい。
- ・産業団地内をバスが走っているので、一緒に併せてPRできる。
- ・発動機を置く(場所を取るので、場所の確保ができるのか？を産業団地まつりの方に確認)
→発動機について、豊田実業さんに聞いてみる (事務局)
- ・アイスクリームを作る

＊ アイスクリームは作ってみて、食べてもらって反響を聞きながら、会議を開けばよい。
そうすれば必要な機材などがハッキリするし、環境モデル都市フェスタで出せるかも分かるだろう。いいか悪いかも分かるし、市民講座の後でやっていけば手間がないだろう。

<市民講座の予定>

9月12日(日) 13:30～ (予定)

3、その他

提案が3つある

- ・ 京都では毎日学校で蛇口をひねるとお茶が出る→それを見た静岡県は出せるようにしている
○ そこまでできなくても、それを目標に毎日お茶を飲めるしくみ作りをしたい
今年から湯出小学校に入ったので、湯出小学校でもやっていきたい
- ・ ロビーでお茶を試飲してもらう時に、その横でお茶の販売ができないので、農業の振興という意味でも、ロビーで販売できるようにしたい
○ 農林水産業を推進する意味で、出来るのではないかとと思うので、市に訴えていく
- ・ 綾町は有機農業の条例を市で作ったりして、町が認めていますよ！！という形で販売できる。
○ 水俣市は農産物に対する基準があいまいなので、市の中に環境マイスターの基準として、ちゃんとする等農林水産の中で認証する部署を作るなど、環境モデル都市になったからには、そういう所があってもいいのではないかと(第三者機関ではお金が凄くかかる)

《意見》

- ・ ISO 14001 と同じような形で、市民の認証機関を作れるものなのか？
- ・ 環境モデル都市となっても、生産者が作ったものをちゃんと売れるようなしくみがない(付加価値があった方が売れるし、生産者が生活できる)
- ・ 市は、環境環境で、第一次産業に取り組んでいない！第一次産業がもうちょっと栄えれば・・・
- ・ 農業、林業、漁業が儲かってもらって町に買い物に来てもらい共に繁栄した歴史がある。地元の商店街が潤わなくなった(シャッター街となった)
⇒ 第一次産業をしっかりとした産業にしないと駄目
- ・ 水俣市民による有機農業認証制度など作れるといい
- ・ 認証基準が複雑だと大変なので、簡単な感じでみんなが分かりやすい事が必要だと思う
- ・ 2月位に第一次産業を考える会があり、1年後に中心的な人が集まってこういう風にしましょう～というのがあったが、それ以降全く動いてない！市長も市役所として、農業に関して無策なんだと思う
- ・ 5ヵ年計画の中で県の方に話したが、休耕田が一杯ありイノシシが出るし、木の伐採にも困り、農業所得を増やせないなので、オリーブを育てて農業の足しにできないか？
→ 現在天草で実施していて、今年でわかってきそうなので芦北振興局でも取り組んでいきたいとの話だった
- ・ 椿の畑を作って、花を見せその後に椿油をとる(一升瓶15000円になるのでお金になる)
→ 市に提案したが返答なし
- ・ 市などのトップにどうすれば水俣市が潤うか考えてもらいたい！市は公害の事ばかり！農業をしてるものからすれば、お金になるものではない！
- ・ 生協などに持っていくのに、環境マイスターを取っていてもあまり意味がない